

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年5月26日(2005.5.26)

【公開番号】特開2003-137915(P2003-137915A)

【公開日】平成15年5月14日(2003.5.14)

【出願番号】特願2001-339043(P2001-339043)

【国際特許分類第7版】

C 08 F 2/44

C 08 F 265/06

【F I】

C 08 F 2/44 C

C 08 F 265/06

【手続補正書】

【提出日】平成16年7月22日(2004.7.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

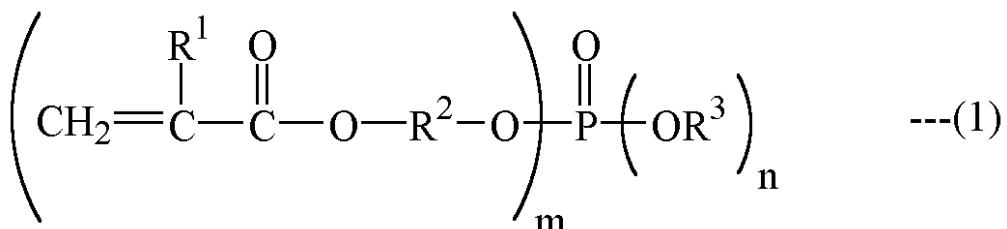
【請求項1】

メタクリル酸メチルおよびラジカル重合可能な官能基を有する非ハロゲン系リン酸エステルを含有する単量体混合物にさらに、メタクリル酸メチルを主体とする不飽和単量体の重合体を存在させ、この重合体含有混合物を重合させてなることを特徴とするメタクリル酸メチル系樹脂。

【請求項2】

前記非ハロゲン系リン酸エステルが下記一般式(1)

【化1】



(式中、R¹は水素原子またはメチル基を表し、R²は炭素数2~8のアルキレン基を表し、R³は水素原子またはフェニル基を表す。mは1~3の整数を表し、nは0~2の整数を表し、m+n=3である。)

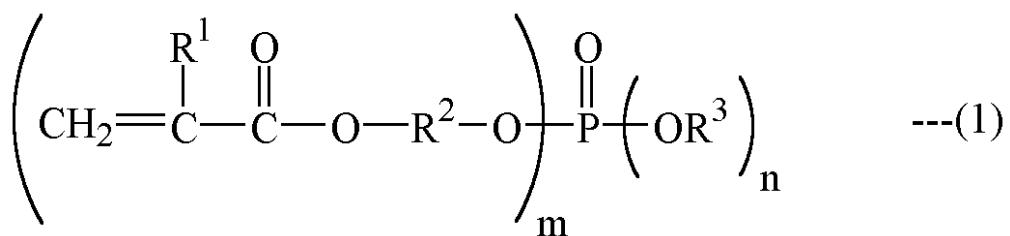
で示される化合物である請求項1記載のメタクリル酸メチル系樹脂。

【請求項3】

メタクリル酸メチルおよびラジカル重合可能な官能基を有する非ハロゲン系リン酸エステルを含有する単量体混合物にさらに、メタクリル酸メチルを主体とする不飽和単量体の重合体を存在させ、この重合体含有混合物を注型重合させることを特徴とする請求項1に記載のメタクリル酸メチル系樹脂の製造方法。

【請求項4】

前記非ハロゲン系リン酸エステルが、一般式(1)



(式中、 R^1 は水素原子またはメチル基を表し、 R^2 は炭素数2～8のアルキレン基を表し、 R^3 は水素原子またはフェニル基を表す。 m は1～3の整数を表し、 n は0～2の整数を表し、 $m + n = 3$ である。)

で示される化合物である請求項3に記載の製造方法。

【請求項5】

メタクリル酸メチル40～97.5重量%、前記非ハロゲン系リン酸エステル0.5～40重量部および前記重合体2～20重量部を含有する混合物をセルに注入し、熱処理して重合させる請求項3に記載の製造方法。